

11.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		-	-
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、スーパーマーケットでは、食品のまとめ買いが発生する状況である。来店客数も通常の5%伸びており、この状態が落ち着くまでは、小売部門の食品品を中心に継続すると予想している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・動きがはじめており、申込みが少しずつではあるが増えている。今後もこのブッキングカーブを維持できるのであれば、少しは良くなる可能性はある。
		美容室（経営者）	・6月には、新型コロナウイルスの影響が落ち着いていることを願っているが、政府も対策を講じているものの、企業や個人には死活問題となっており、非常に困っている。どこでも利用できるクーポン券が発行されると、活性化されるのではないかと考えている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、悪い状況が拡散され、訪日外国人や客の購買意欲も減退し、来店客数や売上が悪くなっている。関連がないような業種でも活気がなくなっている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが終息するめどが立っていないため、この低迷状態が継続する。
		商店街（代表者）	・メディアでは先行き不透明だといわれているが、回復に相当な時間が必要だと商店街でも話している。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・新型コロナウイルスが終息するとは考えられないため、消費の回復は不透明である。今後の経営が深刻な状態である。
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルス感染の今後の状況が、全く見通せない。今の状況が継続すると仮定しての回答であるが、更に感染拡大となれば今以上に悪くなると想定している。東京オリンピックも延期になり、消費マインドは上がらず、観光客も増加する要素が今のところ見当たらない。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が不透明であり、また、東京オリンピックが延期され、不安定な状態である。
		スーパー（店長）	・現状が、好転するような明るい見通しが無い。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たない。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・新型コロナウイルスの影響もあるが、花見の客が減少している。お弁当や総菜、酒等の季節商材が、例年のようにには需要がない。週末の客は減っているが、平日のまとめ買いやアルコール類の需要は、若干増加すると予想している。
		衣料品専門店（店長）	・景気低迷に加え、新型コロナウイルスによる外出自粛もあり、ますます商店街への来街者並びに来店客がほとんどない。この傾向は、まだまだ続くと考えられる。
		衣料品専門店（店員）	・当面の旅行予定を取りやめる客も多く、春の外出需要が期待できない。
		家電量販店（総務担当）	・消費マインドの低下に加えて、商品も品薄や品切れ状態が続き、今後の落ち込みが危惧される。
		乗用車販売店（代表）	・景気回復するような好材料がない。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルスの影響は、当面継続する。
		観光型ホテル（総務）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないため、改善材料がない。
		観光型ホテル（専務）	・現在、どん底であるため、これ以上最悪な状態にはなりようがない。
		通信会社（企画担当）	・年度末ということもあり、判断しにくいところもあるが、景況感は例年と変わらない。
		美容室（店長）	・先行きが分からない不安の状態、どうにか営業している。
		設計事務所（所長）	・全世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が、いつまで続くか不明で、この現状がしばらく継続する。
	一般小売店〔精肉〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響が、先行き不明なことにより、やや悪くなる。	
	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・例年であれば高い売上有る新茶の時期に、新型コロナウイルスの影響で、売上は期待できず、ますます景気は悪くなる。	
	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの終息の見通しがなく、訪日外国人の回復のめども立たない。	

	百貨店（売場担当）	・営業時間短縮が、4月以降も延長されることになり、期間が限定されなくなっている。また、4～6月の大型物産催事は、検討中である。売出しでは、人の集客を兼ねることを戦略としているが、売上は、現状維持若しくは悪くなる可能性が高い。特に食品への影響がかなり大きい。
	百貨店（業務担当）	・現在、新型コロナウイルス感染者が拡大しており、終息が見えない状況である。客が安心できる生活に戻れるまでは、売上が回復することすら期待できない。
	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルス終息がいつか見当もつかず、そのときには反動で家庭内消費が減少する。
	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、近隣施設での大会中止等が発生している。
	衣料品専門店（取締役）	・賞味期限がない業種のため、3か月先季節が変われば、少しは物が動くかもしれないと希望を持ちたいところであるが、人と人の交流がなければかなわないため、言い様がない心境である。新型コロナウイルス感染者は、増加するおそれが大きいと予想しているため、粛々とできることをしていく状態である。
	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの影響は、飲食店関係より影響が少ないが、来店客数はかなり減少している。ただし、来店客は、確実に目的を持って購入しているため、落ち込みは酷くない。今後、上昇に向かうとは考えられないため、景気はやや悪くなる。
	家電量販店（従業員）	・新生活が終わり、新型コロナウイルスの影響で入荷が遅れている状態である。
	家電量販店（広報・IR担当）	・商品の供給状況次第であるが、家電小売業界の落ち込みは小さいと考える。東京オリンピックは延期となったが、テレビや白物家電には、底堅い買換え需要があり、3月は、エアコンディショナー以外の主要商品は、好調に推移している。
	乗用車販売店（従業員）	・海外からの部品調達が滞れば、車の販売、整備に確実に影響が出る。また、外出する機会が減少すると、事故の回数が減り、それに伴う整備の機会も確実に減少する。
	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、生産工場等がストップすると確実に景気は悪くなる。
	乗用車販売店（総務担当）	・前年の消費税引上げの影響と今回の新型コロナウイルスの感染拡大が、客の新車購入意欲をなくしている。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・新型コロナウイルス対策の影響により、燃料油の小売価格が下がる傾向がしばらく続くものと予想される。人の移動等が制限されると来店客数が減少し、燃料油を中心とするカーケア商品等の販売も減少する。
	観光旅館組合（職員）	・訪日外国人が来ない上に、新年度になり仕事や学校が始まるために、日本人旅行者も減少する。予約等もなかなか入らず危惧している。
	通信会社（企画担当）	・光回線エリア拡大の特需が、一旦落ち着くため売上は伸びない。
	通信会社（業務担当）	・震災のときと同様に、当店でも営業活動の自粛がある可能性があり、先行き不安により景気が上向くことはないと考えている。
	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響をまだ受けていないが、今月で卒業や就職により、来店がなくなることの影響が出てくる。新規の客を取ることが難しく、このため、2～3か月は悪い状況になる。
	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・新型コロナウイルスの影響で、物流が少なくなっていることから、海外の発注を控えたり、計画見直しが予想され、操業にも影響が出るおそれがある。また、為替の動向にも注意が必要である。
	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・しばらくは新型コロナウイルスの影響は避けられず、利用控えやサービスキャンセルが継続されることが想定される。
	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響で、客は、取りあえず様子を見ようとしている。今後は、更に感染拡大し、景気はもっと悪くなる。
	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が長引いており、引き続きイベントの自粛や購買意欲の減退がみられる。
×	商店街（代表者）	・4月下旬まではどうにかなるが、新型コロナウイルスの現状が日々変わりつつあるため、何が起きるか予想できない。

×	商店街（代表者）	・将来的な予測が全く付かず、悪い状況である。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息が見えない状態では、先行き悪化を予想している。国の支援制度に期待したいが、余り大きな期待はできない。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスがいつ終息するのか分からないため、状況が更に悪化すると考えられ、中小零細商店は、廃業や倒産等の最悪の事態になることが予想される。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの流行が原因で、景気是最悪の状況に陥ると予測している。
×	一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスが終息していないため、未曾有の状況が継続する。政府からの給付金等対策が出て、ワクチンができるまでは、かなり厳しい状態が続くと想定している。
×	一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・納入先の海外部門から注文が皆無となり、先が見通せない。
×	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息が見えない状況で、東京オリンピックも延期となり、更なる営業環境の悪化が予測される。
×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染の警戒と外出自粛で外出や購買意欲が減退し、新生活家具・家電需要や学生服渡し等新入学需要への効果は減少している。一方、必需品や日用品のまとめ買いやクレジット購入は期待できるが、新型コロナウイルス感染の安全対策として、催事変更や混雑緩和策の実施で購買意欲も減少している。慎重な購買姿勢と生活防衛意識が加わり、不安要因の解消は長引くと予想される。
×	百貨店（営業担当）	・日本では新型コロナウイルスが感染拡大中であるが、欧米と比較すると低い状況である。これから、感染拡大の本番になると予想しているが、仮に、時間が経過し、終息したとしても、経済には、かなり大きな傷跡を残しており、回復には相当な時間を要するとみている。いかに企業継続を前提に取組ができるか、経営のかじ取りが大変になってくる。
×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響で、既に苦戦しており、回復は先行き不透明である。
×	百貨店（プロモーション担当）	・このまま深刻化が進むと、事態はゴールデンウィークにも当然影響を及ぼす。
×	百貨店（経営企画担当）	・2月下旬以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、入店客数や売上共に3割程度減少している。特に、衣料品関係が大きく減少している。政府関連機関からの自粛要請等もあり、客足の減少は継続することが見込まれ、今後の見通しが立たない状況である。
×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの終息が見えず、東京オリンピックも1年延期になり、消費が上向くような相乗効果がどこにも見当たらない。
×	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染がこれ以上拡大すると、経済が破綻、あるいは極めて弱体化することになり、その結果、本当に限られた必需品のみの買物に抑えられることになる。また、従業員の確保も難しくなり、店が営業していけるかどうか死活問題になってくる。
×	スーパー（統括者）	・新型コロナウイルス終息は全く見えておらず、今後は、客も必要最低限の消費しかしない。飲食業や観光業等を中心に、失業者増加も懸念され、個人消費は著しく冷え込む。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが終息すると予想しているが、先行きが分からないため不安しかない。また、政府の経済対策も即時対応していないため、好転する気配が見受けられない。時間が経つにつれ悪い状況は続くと考えられるため、現金給付や消費税減税等の対応を急いでほしい。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期は誰も分からないため、判断不能である。今後は、所得減少や資金繰り悪化が顕在化し、消費低迷は続くものと予測している。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの問題が終息しない限り、経済活動の復調は見込めず、現段階では、更に悪化することが懸念される。
×	コンビニ（経営者）	・マスクや洗剤等の一部の商品が、入荷しなくなっている。そのため、販売する物がなくマイナスの要因になっている。政府の要請で、外出自粛をしているため、必要最低限の購入をする外出しかない状況で、非常に暗い見通しを持っている。
×	コンビニ（店長）	・先行き不透明で、状況は悪くなる。
×	コンビニ（店長）	・終息が見えない新型コロナウイルスの影響から逃れることは、難しいと考える。

×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス終息の時期が読めず、この状態がしばらく続く。
×	衣料品専門店（総務担当）	・現時点では、新型コロナウイルス問題が終息するとは考えられず、この状態が継続すると消費者の購買心理はますます冷え込み、更なる悪化は避けられない。
×	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスに対して劇的な効果のある対策が出るまでは、自粛等により、現状以上に景気が下がるおそれがある。
×	家電量販店（店員）	・6～7月は夏場となり、エアコンディショナーを中心に家電の売上は上がっていくが、このまま新型コロナウイルスの影響が継続すると、年間で2番目に高い売上を上げる時期に、更に悪い状況になる。
×	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たない状況では、客も出費を控え、また、大きなイベントもできない状況であるため、この先の景気の不安が続く。
×	住関連専門店（従業員）	・新型コロナウイルスによる景気の落ち込みが、大変心配である。
×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・地域の人々が集まるショッピングセンター業界としては、全世界で拡大している新型コロナウイルスの対策としての自粛が、いつまで続くかが死活問題になりつつある。特に当社の施設は、イベントが特徴であることもあり、再開のタイミング判断等に迷う部分もあり、今後2～3か月の動向は、厳しくなると予想している。
×	高級レストラン（経営者）	・今月の予約状況は、ぽつぽつと小人数が入っていたが、4月第1週目は、ほとんど入っていない。2週目以降からは、若干あるものの、何も変わる気配がない。早く新型コロナウイルスが終息し、元の状態に戻らなければ大変厳しい状況になる。
×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が出ていなかった当県で、ついに感染者が発生している。このことで、3か月先は、もっと悪くなるのではないかと心配でならない。
×	高級レストラン（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、来店客がほとんどない。
×	一般レストラン（経営者）	・この状況がいつまで続くのか、また、終息しても肉等の在庫のたぶつきをどう処理するか不安要素が満載である。
×	一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスショックの影響は、計り知れない。
×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの終息の兆しは見えず、今後、大恐慌になる可能性もささやかれており、今後、一層景気が悪くなることはあっても、良くなることはないかと危惧している。
×	居酒屋（経営者）	・新型コロナウイルスの終息の予測が付かず、まだまだ、消費が冷え込むと考えられる。
×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルス対策で、危機対応融資制度等の準備はあるが、通常の金融機関融資は、厳しい審査姿勢の対応となっている。今後、新型コロナウイルスの影響により業績悪化した企業に対する貸し渋りや貸し剥がしにより、企業倒産が大幅に増加する。さらに、不良債権化による連鎖倒産も防ぐ対応策が必要になる。
×	都市型ホテル（販売担当）	・先が見えないため、上期は予想がつかない。
×	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、人の移動やレストラン、宴会利用は見込めない。一層状況は悪くなる。
×	旅行代理店（従業員）	・外務省が海外渡航危険情報をレベル2に引き上げたことにより、全ツアーの募集中止や航空会社の運休の継続が予測され、再開のめどが立たない。
×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの終息が見えない現状では、いまだかつてない売上の下落も覚悟しなければならない。
×	タクシー運転手	・業界では、通常の売上の半分以下に落ち込んでいる。この状況が改善する特效薬は、現在見つかっておらず、新型コロナウイルスが落ち着くまでは、この状況は酷くなる。
×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響でキャンセルが多く、仕事が減少している。先が見えない状態で危惧している。
×	通信会社（営業担当）	・全てにおいて販売数が落ちることが、目に見えている。
×	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気が悪くなる。
×	ゴルフ場（従業員）	・日韓関係の影響は、今後しばらく続く。また、新型コロナウイルスの影響もどこまで拡大するか次第で、見通しができない状況である。

	x	競馬場（職員）	・新型コロナウイルスによる影響が、2～3か月先に改善しているとは考えづらい。
	x	美容室（経営者）	・2～3か月先の景気は、全く見えず、どんどん悪くなっている。今の状態からは、想像もできない状態で、客や近隣の店に聞いても、動きがない状態である。まるで経済が止まっているようで、終息しない限り良くなる気配がない。
	x	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	・新型コロナウイルス影響の収束が見えない。
	x	住宅販売会社（従業員）	・現在の来場減少が、先の受注に大きく影響してくる。
	x	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、全世界で景気の低迷が考えられる。また、株価の低迷や買い控え、輸出の不況等で景気の先行きに非常に心配がある。
企業 動向 関連 (九州)		-	-
		-	-
		農林水産業（経営者）	・新型コロナウイルスの現況では、4～5月の行楽シーズンも余り期待できない。ただ、家での食事が中心となるスーパーマーケット向けの納品や加工メーカー向けの生産は、期待できるため、これに集中して対応をしていく予定である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・このような新型コロナウイルスの状態であれば、商店も閉鎖し、人の往来もなく、商品の動きもほとんどないのではないかと心配をしている。ますます、悪い方向になっていく。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスが終息するまでは、回復にはならない。
		金融業（得意先担当）	・新型コロナウイルス感染者が、日増しに増加しており、終息が見えない状況である。各事業者の心理的影響も厳しさを増しており、現状では改善する見込みは考えられない。
		農林水産業（従業員）	・今後、農業者は、出荷先や出荷用途を戦略的に検討していく必要がある。和牛の価格低迷が心配である。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・各自治体では、新型コロナウイルス対応策のため、本来の業務以外の対応が続いており、委託業務実施や購入時期の延期等が発生している。これが数か月続くものと見込まれる。
		化学工業（総務担当）	・自動車の販売量落ち込みが、タイヤ添加剤の出荷量に影響するおそれがある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今まで新型コロナウイルスの影響がなかったが、このまま拡大すると必ず受注に影響してくる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・現在新型コロナウイルスの影響はないが、今後は少なからず影響が出てくる。
		精密機械器具製造業（従業員）	・前月同様に、受注量が低減したままの状態が続いている。新型コロナウイルスの影響により、今後の状況が不透明で不安である。
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、衛生器具や材料の確保ができない。見積案件は、普通にあるが、景気の悪化により設備投資を控えている状況である。現場職員もしゅん工が終わっているため、早急に受注をしなければならぬ。新型コロナウイルスが長引けば、景気が悪くなる可能性もある。
		建設業（社員）	・令和2年度の発注は、5月のゴールデンウィーク後にならなければ本格的に始まらぬと予想している。民間工事に期待をしたいが、太陽光の造成工事等の見積りはあるが、なかなか決まらず、受注中の工事で切り抜ける状態である。
		輸送業（従業員）	・春から夏場向け製品や特に化粧品関連の動きが鈍い。容器の輸入遅れ、越境ECの輸出遅延等により、輸出入の正常化が見えないことで、今後悪化する。
		通信業（職員）	・新型コロナウイルスの影響で、コストがかさむ可能性が高い。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たないため、状況は悪くなる。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況下では、企業の業況や消費マインドの回復は期待できず、当面厳しい局面が続く。
		広告代理店（役員）	・当分新型コロナウイルスの影響が続く。現在、既にマーケティング投資を減少させている客の新たな動きが見えていない。
	経営コンサルタント（代表取締役）	・2月から新型コロナウイルスの問題が発生しているが、3月は非常に厳しい。3月後半から患者数も増加しており、4月は更に深刻な状況になる。	

	経営コンサルタント（社員）	・新型コロナウイルス問題が終息しない限り、活性化は望めない。
	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・新年度予算は、市町村議会で議決されているところが多いが、発注業務が控えられるおそれがある。また、当社から各市町村への営業も控えなければならない可能性もあることから、新規受注が減少することを懸念している。
×	食料品製造業（経営者）	・今後、外食向け商品の製造販売が減少するため、非常に厳しい。
×	繊維工業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、物が売れない状況は継続する。マスクの資材を調達して作るように指示されるが、現状ではできない。
×	家具製造業（従業員）	・良くなる要因は全くない。3～4月の新社会人や新入生等の家具需要が、大幅に落ち込んでいる。
×	金属製品製造業（事業統括）	・実体経済の悪化は、2～3か月では回復しない。
×	一般機械器具製造業（経営者）	・世界的に動きの予測が付かない状態である。内容がつかめず、品物や人がいないため、動きが非常に鈍く、今後の動きは、もう少し時間が経たなければ分からない。
×	一般機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、テレワークや移動の自粛等により仕事のペースが遅く、業務に支障が出ており、受注活動が円滑にできない。早急な経済対策実施のアピールを希望している。
×	電気機械器具製造業（取締役）	・新型コロナウイルスの底が見えなければ、次の事業展開を読むことが困難である。国の政策、金融機関への運転資金の要請等至急で対応する必要がある。
×	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・4月の生産計画でも稼働調整や停止の影響が出るが、5月以降も継続すると予測している。
×	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・相場も大幅に下落し、生産予定もない状態のため、全く見通しが見えない状況である。
×	輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスによる感染症拡大が終息する見込みが立たないことが、最大の懸念である。観光業やイベント主催者はもちろんのこと、外食産業も影響を受けている。外出禁止令が発令された場合は、最悪の事態を想定する必要がある。社内で感染者が発生した場合、濃厚接触者の自宅待機や保健所による消毒等業務に支障が生じるおそれがあり、ボーナスの支給停止や雇用調整等厳しい処置を行わざるを得なくなる。当然、景気に更なる悪影響を及ぼすこととなる。
×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、国内の様々なイベントが中止、又は延期を余儀なくされ、経済活動や市民生活に多大の影響が出ている。外国人中心に旅行のキャンセルも相次いでおり、百貨店等の売上も減少し、景気の先行きに暗い影を落としている。
×	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス終息が根底にあるが、経済面での影響は、今後、更に増していく。3月の売上の大幅減少で、4～5月の資金繰り対応は、小規模や下請事業者を中心に不可避な企業が増加する。日用品小売店や医薬品製造、検査キット製造といった一部の業種は上向きであるが、大半の業種は業績が低下しており、2～3か月先の景気は現状よりも悪くなる。
×	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染終息のめどが立たないために予想ができず、3か月先もこの状況が継続するようであれば、景気は一層悪くなる。また、中小企業の資金繰り面でも、3か月が限界であると考えられるため、何らかの資金供給の対応が必要になってくる。
×	金融業（営業）	・新型コロナウイルスの影響は、出口が見えず不安が広がっている。今後、資金繰りに影響が出ると考えている中小企業は多いが、どのくらい必要かが分からず、借入をちゅうちょしているところも多い。また、現在影響なしと答えている企業にも、今後は影響が出ると予想している。
×	不動産業（従業員）	・不動産業では、今のところ直接的な新型コロナウイルスの影響は余り出ていないが、飲食店を営んでいる客が、不動産契約の直前にキャンセルしたという話もあり、今後、影響が出てくるのではないかと予想している。
×	不動産業（従業員）	・宿泊部門のキャンセルが多く、数か月間の売上低下が予想される。
×	新聞社〔広告〕（担当者）	・イベントの仕込みができない。

	×	経営コンサルタント（社員）	・新型コロナウイルスの影響がもっと拡大し、終息するまで難しい状況が進む。	
	×	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	・客によっては、不要な出入りも禁止されており、マスクがなければ入館できない会社もある。営業活動で訪問できない企業もあり、設備投資が減速する可能性が高い。	
雇用 関連 (九州)		-	-	
		-	-	
		人材派遣会社（社員）	・現状では、新型コロナウイルス終息の見通しが立たないため、この状況が続いていく。4月にキャンセルになった注文も、延期や中止になっており、求職者の動きも鈍くなっている。	
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・現在、様々な活動が抑制されているが、新型コロナウイルスの大流行にでもならない限り、大幅な悪化は考えにくい。ただ、資金繰り等での倒産も予想されるため、政府の十分な支援が必要である。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・しばらくは感染拡大防止の動きが続くため、景気も現在のような状況が継続する。	
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響もあり、求人数も求職者も大きく動くことを控える状態になると予想している。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・今後、悪いなりに状況に応じたビジネスが出ると考えている。例えば、テレワークでは、在宅での活動から通勤する都市部だけでなく、地域の活性化につながる活動も生まれると予想している。	
		職業安定所（職員）	・人手不足は一部で続いているものの、業種によっては、求人募集を中止するケースも増えている。	
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルスの影響や東京オリンピック延期により、経済に影響が出ており、また、経済への影響が長期化することで、採用抑制等企業の採用意欲に深刻な影響を及ぼす。特に、AI等の活用が推進されることで、文系学生に対する採用意欲が分からない状況である。	
		×	人材派遣会社（社員）	・4月に向けた雇用確保はできているものの、業績低迷のため4月以降の雇用確保ができるか先行き不透明である。
		×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス終息の見込みが立たないと、今後が見込めない。
		×	人材派遣会社（社員）	・サービス業等を中心に人材整理が進むと考えられ、失業者が大幅に増加するのは不可避であり、その規模は想定できない。造船不況に加え、観光産業に依存している地域への影響は計り知れない。
		×	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの今後にもよるが、いずれにしてもゴールデンウィークへの影響は、今の時点で避けられないと考える。回復したとしても人の手配が全くできず、回復しない場合は、最悪のシナリオとなる。インパウンドの影響も続き、当市最大イベントの中止で、多大な影響をもたらすと考えられる。
		×	職業安定所（職員）	・求人数の減少傾向と新型コロナウイルスの売上減少についての相談が増加していることから、今後、更に求人数の減少が予想される。